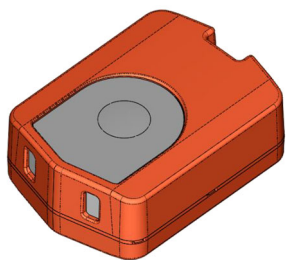


# ウェルカム ガイド

## 落水検知ユニット NDS-3000



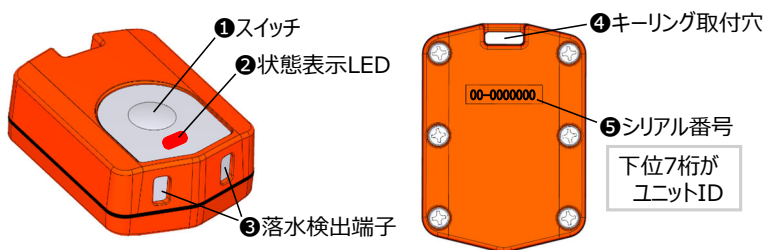
落水検知ユニットをスマホに登録して、水につけてみよう  
**海に行く前に、まずお試してください**

簡易取扱説明書 Rev.2022-07

## JM-Safety 落水検知のしくみ

本機能は、落水検知ユニットで落水のおそれを検知した際、Bluetooth®通信にてJM-Safetyアプリがインストールされたスマートフォンへ通知し、事前登録した通知先へインターネット経由でお知らせするものです。落水検知ユニットは、落水検出端子に一定時間、水が触れることにより落水を検知します。

## 落水検知ユニットの各部名称



## JM-Safetyアプリのインストール

本サービスをご利用するにあたり、スマートフォンやタブレットへJM-Safetyアプリをインストールしていただく必要があります。JM-Safetyアプリについては、以下のリンクを参照ください。








iOS



Android™



## ご使用の前に

-  ご使用の前に本書とJM-Safetyオンラインショップ利用規約、およびJM-Safetyアプリ利用規約等をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
-  JM-Safetyサービスは、落水事故のおそれがある時の早期発見や早期救助、航海の安全を支援する安心の提供をめざす補助として使用するものであり、事故における法的証拠としての効力、危険回避、人命救助などの安全を保証するものではありません。
-  落水検知ユニットを用いても、利用状況や通信状況によっては、完全に落水を検知および通知することはできません。
-  落水検知ユニットは、お客様自身で分解しないでください。正常動作しないおそれがあり、分解された場合は保証の対象外となります。
-  JM-Safetyサービスおよび落水検知ユニットのご使用は日本国内のみとさせていただきます。
-  本サービスをご利用するにあたり、スマートフォンやタブレットへJM-Safetyアプリをインストールし、ご使用中はアプリを起動しておく必要があります。
-  本書の内容は、予告なく変更する場合があります。また、アプリのバージョンアップ等により本書と実際の画面とは異なることがあります。

Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

App Storeは、Apple Inc. のサービスマークです。

Google Play、Google Play ロゴ、Android™ は、Google Inc. の商標または登録商標です。

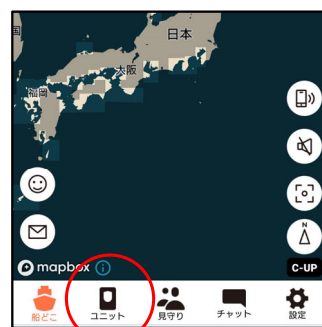
## スマートフォンと接続する

### 落水検知ユニットの操作

スイッチを5秒以上（LEDが短く3回点滅するまで）長押しして電源をONにします。電源ON状態で、スイッチを短押しするとLEDが短く3回点滅すること（落水未検知を意味します）を確認します。この状態の落水検知ユニットのそばで、次のスマートフォンの操作を実施します。

### スマートフォンの操作

- ① 画面下のメニューバーから「ユニット」をタップします。
- ② マイユニットの「+」をタップします。
- ③ メールにてご案内したユニットID（7桁）とセキュリティコード（8桁）を入力し、認証をタップします。
- ④ ユニットIDがご利用のもの一致していることを確認します。
- ⑤ 所有者名をタップします。
- ⑥ 所有者名を入力し決定をタップします。
- ⑦ 所有者名が表示されることを確認します。



手順① 画面下にある「ユニット」



手順⑦ 設定完了画面

# 見守り通知先設定を行う

## A. 見守り通知先のスマートフォンの操作

- ① 画面下のメニューバーから「設定」をタップします。
- ② QRコード項目の「QRコード作成」をタップしてください。
- ③ QRコード種別「見守り通知先」を選択し、「QRコード作成」をタップします。
- ④ B.④の後、プッシュ通知が来ることを確認します。
- ⑤ 画面下のメニューバーから「見守り」にご自身のユニットIDと所有者名が表示されることを確認します。表示が変わらない場合は画面右下の「○」をタップしてください。

## B. ご自身のスマートフォンの操作

- ① 画面下のメニューバーから「設定」をタップします。
- ② QRコード項目の「QRコード読み取り」をタップしてください。
- ③ ⑤で作成したQRコードを読み取ります。
- ④ 名前とユーザーIDを確認し、「登録」をタップします。
- ⑤ 見守り通知先に名前とユーザーIDが表示されることを確認します。



手順A.⑤ 設定完了画面



手順B.⑤ 設定完了画面

# 落水検知を試してみる

- ① 落水検知ユニットの電源がONであることを確認します。
- ② ポウルや計量カップ等に塩水をためてください。
  - ▶ 塩水の目安：1カップ(200ml)の水道水につき、食塩小さじ1杯(6g) 海水でのご利用を想定しているため、水質によっては検知しないことがあります。
- ③ 画面下にある「ユニット」をタップします。
- ④ 「落水検知を試す」をタップし「テストする」を選択します。
- ⑤ 画面下にある「船どこ」をタップします。画面上に表示されている手順に従い、テスト通信を開始してください。
- ⑥ 落水検知テストモードが有効になったことを確認し、落水検知ユニットを貯水に入れ、手を放します。数秒後、ご自身のスマートフォンと見守り通知先のスマートフォンに落水通知が届くことを確認します。
- ⑦ 通知が確認できましたら、画面上に表示されている手順に従い、落水状態を解除してください。見守り先に解除通知が届くことを確認し、テストモードを終了してください。



手順④「落水検知を試す」画面 手順⑥ 落水通知(見守り通知先)



# 落水検知ユニットのお手入れ方法

- ① 海水がユニットに付着した場合は、電源を切った後、蛇口から弱めの水流で濯ぎ、乾いた布で水を拭き取ってください。
- ② ①で塩分が落ちない場合、10分間程度 水道水につけ置きしてください。
- ③ ①と②を行っても、汚れが落ちない場合には、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で、落水検知ユニットを優しく拭き取り、水道水で濯ぐよう、お願いします。

**!** 使用後は必ずお手入れを行ってください。お手入れをせずに長時間放置した場合、落水検出端子等の金属面に付着した塩分により錆が発生し、故障の原因となるおそれがあります。

**!** 有機溶剤、防虫剤、酸性・アルカリ性洗剤はユニットのプラスチック部や防水パッキン、金属端子を傷めるおそれがあるため使用しないでください。

**!** 高温になるおそれがある場所（車のダッシュボード等）でユニットを長期間保管しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

**!** 水に濡れたところや湿気の多い場所にユニットを長時間保管しないでください。故障の原因となるおそれがあります。

**!** 長時間使用しないときは電池消費を防ぐため電源を切ってください。電池残量の目安はJM-Safetyアプリで確認できます。

**!** ユニットの廃棄する際は、各自治体の規則に従って処理してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

# ご利用のヒント

落水検知ユニットとスマートフォンは、ネックストラップ等を利用し、首から掛けてご利用いただくと、比較的 落水検知しやすくなります。スマートフォンは防水ケース等を活用することで水から守ることができます（その際、落水検知ユニットは防水ケースに入れないよう、ご注意ください）。なお、水中では電波が伝搬しにくいいため、落水検知ユニットやスマートフォンをポケット等に入れて落水した場合、検知や通知ができないことがあります。



# 保証について

製品受領後すぐに、本体等に損傷がないことをご確認ください。お届けした落水検知ユニットの初期不良につきましては、ご注文日から90日以内にJM-Safetyサポートセンター宛てにお電話ください。期間内に初期不良と判断された商品に関しましては、直ちに新しい落水検知ユニットをお送りいたします。

# お問い合わせ

ご質問や詳細情報、お問い合わせ等は、JM-Safety サポートセンターまでアクセスください。  
<https://www.jmarinesafety.jp/support>

本書や詳細な取扱説明書、ユーザーマニュアルは下記URLからご覧いただけます。  
[https://www.jmarinesafety.jp/user\\_data/manual](https://www.jmarinesafety.jp/user_data/manual)

日清紡ホールディングス株式会社

Copyright © Nisshinbo Holdings Inc. All Rights Reserved.

